

令和7年度(2025)市長施政方針

所 信

私は、このたび2期目の市政運営を担わせていただくことになりました。市政の舵取り役としての使命と責任の重さに、あらためて身の引き締まる思いであります。

17万市民の信頼と期待に応えられるよう、初心を忘れることなく、引き続き、全身全霊を捧げて、市政運営にあたってまいります。

さて、わが国を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化、自然災害の頻発化・激甚化に加え、混迷する世界経済、エネルギー・食料品等の価格高騰など、多くの諸課題に直面しており、地域経済や市民生活においても、さまざまな形で影響が生じています。

こうした厳しい状況にありますが、本市には、ブランド力、多様な産業、魅力ある自然・歴史・文化、地域の絆など、他に誇れる総合力「出雲力」があります。

私は、「出雲力」を更に高め、最大限に活用することで、この難局を乗り越えていく決意です。

しかし、これは、決して行政の力だけで成し得るものではありません。議員の皆さま、市民の皆さま、本市に関わる全ての方々と力を合わせ、心を一つにして取り組むことが必要です。

私は、市政のコンダクターとして、市民、企業、関係機関・団体及び行政の協働・共創を進め、本市の持つ強みを伸ばし、確かなハーモニーを生み出すことで、本市の将来像「出雲力で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち」を実現してまいります。



市政運営のポイント

1. 人口減少対策

- ・ 出雲斐川インター企業団地の本年度中の完成をめざし整備を推進、湖陵地域の新工業団地整備に向けた基本計画の策定及び詳細設計の実施
- ・ 地場企業の生産性向上や経営基盤強化の取組の支援、農林水産業の収益力向上や省力化の取組の支援
- ・ 高校卒業後も学生が地元とつながりを持てるよう、「高校ネットワークコーディネーター」制度を導入
- ・ 学生就職支援窓口の利用促進や、いずも学生登録者の拡大
- ・ 県外から移住する新婚・子育て世帯や独身・ターナー者への家賃助成、東京圏からの移住支援、市外からの移住者への住宅リフォーム等の助成
- ・ 結婚支援団体等と連携した出会いの場イベントや支援セミナー等の開催、若い世代のアイデアを取り入れた婚活イベント等の実施
- ・ 子ども医療費助成の高校生年代までの拡大、学校給食費の物価上昇分の全額公費負担の実施
- ・ 保育所の施設整備による受入枠の拡大や丁寧な入所相談の実施
- ・ 児童クラブの施設整備や人材確保、法人参入促進等による受入枠の更なる拡大



出雲斐川インター企業団地の整備

2. 中山間地域振興

- ・ 「地域おこし協力隊」の更なる増員、「元気・やる気・地域応援補助金」の拡充、「地域支援員等による伴走支援」の充実
- ・ 地域の未来を示す「まちづくりビジョン」の策定支援と策定後のフォローアップ
- ・ 最新技術を活用した遠隔診療の実証事業の実施
- ・ 介護予防・生活支援のサービスを行うボランティア団体等への支援強化

3. DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

- ・ 先進的な「自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト」として「窓口に行かなくてよい」「待たなくてもよい」「申請書を書かなくてよい」利便性の高い窓口サービス改革の実施
- ・ 高齢者向けスマホ教室及び高校生によるサポート相談会の開催
- ・ 日本初のAIを活用した高齢者の見守り電話サービスの実証事業の実施
- ・ 幅広い世代のデジタル技術の活用や人材育成に向け、出雲科学館内に「(仮称)いずもデジタルスタジオ」を整備

4. 脱炭素社会の実現

- ・ 住宅や民間事業所への太陽光発電設備等の導入と、個人住宅のZEH(ゼッチ)化を支援
- ・ 公共施設に事業者が設置した太陽光発電設備で発電した再生可能エネルギーを市が購入する「PPAモデル事業」の導入を推進
- ・ 市内事業者向けに脱炭素に関する勉強会を開催、エネルギー診断やCO₂排出量の見える化等を支援
- ・ 森林のCO₂吸収効果によるJ-クレジット創出に向けた調査の実施
- ・ 令和9年度の放鳥・野生復帰に向けたトキの生息環境の整備、環境にやさしい農業の普及

5. 防災・減災対策

- ・ 大橋川改修の推進、斐伊川本川堤防や宍道湖西岸堤防の整備、神戸川下流地域の地盤沈下対策の推進など、斐伊川・神戸川の治水対策について国へ要望
- ・ 新内藤川など河川改修の推進を県に強く要望
- ・ 市街地の内水氾濫対策に向け「市街地水害対策室」を設置
- ・ 大津地区、斐川町直江地区における浸水対策工事の実施、四絡地区の市河川改修計画の検討
- ・ 島根半島の防災対策の強化に向け、ヘリポートを整備

主要施策・主要事業



海・山・大地の恵みを生かす

- ◆出雲農業未来の懸け橋事業による生産振興、産地の維持拡大、担い手の確保、スマート技術の導入による省力化や高収益化を推進
- ◆アグリビジネススクールや各種補助事業による新規就農者確保・後継者育成・経営継承の支援
- ◆水産資源のブランド化、作業の省力化等への支援や担い手の確保・育成、出雲の海の魅力発信
- ◆伐採・再造林や間伐を行う「攻めの林業」の促進による林業振興、担い手確保・育成
- ◆公園への木製遊具設置等による市産材の利活用の推進

地場企業が地域を支える

- ◆「第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画」に基づき事業者の事業継続を支援
- ◆「NPO法人ミライビジネスいずも」との連携による新事業展開支援、人材育成や企業の業務のDX化や効率化を支援
- ◆地域通貨「いずも縁結びPAY」を活用したプレミアム付きデジタル商品券事業の実施

「人材力(じんざいりょく)」で地域産業を“前へ”

- ◆コワーキングスペース施設「Izumonomad(イズモノマド)」を拠点に高度IT人材の確保や企業誘致などを推進
- ◆工科系高等教育機関の誘致活動の実施



アグリビジネススクール
アスパラガス&白ねぎチャレンジ講座



誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに

- ◆防災出前講座の実施、コミュニティセンター等への分散備蓄の推進
- ◆地区災害対策本部の防災対策を支援
- ◆災害種別に応じた防災訓練の実施
- ◆空き家実態調査や所有者アンケートの実施、「空き家対策の総合ウェブサイト」開設
- ◆消防団改革の計画的な推進、コミュニティ消防センター及び水利施設の整備

未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ

- ◆環境にやさしい暮らしをめざす「デコ活」の取組を推進
- ◆トキによる環境にやさしいまちづくりの機運醸成に向けたシンポジウムの開催、アクションプランの改訂、トキの放鳥及びモニタリング計画の作成



地域での防災訓練



期待(来たい)が膨らむ観光のまち出雲

- ◆アクションプランを策定し「観光地経営でなす 住んでよし、訪れてよしの観光まちづくり」を推進
- ◆観光協会の組織強化を図る地域DMO化をめざすとともに、マーケティング戦略の策定を支援
- ◆シェアサイクルやグリーンスローモビリティの本格運用を開始
- ◆大社地域の交通渋滞対策のため「(仮称)大社新駐車場」整備等を推進
- ◆2025年大阪・関西万博来訪者に向けたPR活動や海外メディア、旅行会社への広報活動の実施、英語ガイド付きの体験メニューの充実
- ◆ヨーロッパ最大級の日本文化イベント「JAPAN EXPO Paris (ジャパン エキスポ パリ) 2025」において本市の魅力PR

ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ

- ◆「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」を中心に空港の利用促進に努め、出雲縁結び空港の更なる利用者数の増をめざす
- ◆空港の機能強化について、周辺住民の生活環境に配慮しながら関係機関へ働きかけ
- ◆「中海・宍道湖8のルート整備推進会議」を中心に「境港出雲道路」の早期事業化を国・県に強く要望

あのまち・このまち 出雲を結ぶ

- ◆中海・宍道湖・大山圏域市長会において、観光・産業及び環境分野を柱とした取組や台湾・インドとの経済交流を推進
- ◆広島広域都市圏による連携事業の推進
- ◆出雲市、津山市及び諫早市の友好交流都市間で児童のオンライン交流や給食交流を実施

いにしへの「財(たから)」を守り、活かす

- ◆「[日大社駅本屋]の保存修理完了後の公開・活用に向けた整備
- ◆須佐神社本殿の保存修理事業への支援、保存修理事業関連の特別展の開催
- ◆青銅器の世紀の大発見から40周年を記念し、荒神谷博物館において、国宝である銅剣、銅鐸、銅矛を長期展示



グリーンスローモビリティ(緑結びークル)の本格運用



「産みたい」「育てたい」を応援

- ◆令和8年度の「こども誰でも通園制度」実施に向けた準備を開始
- ◆保育所・幼稚園等における支援が必要な子ども、医療的ケア児、外国籍児童の受入れの支援、発達に関する相談支援、幼児通級指導教室の充実に向けた検討
- ◆官民連携による出雲市と都市部の子どもの交流事業を実施
- ◆「ヤングケアラー・コーディネーター」によるヤングケアラーへの支援体制強化
- ◆特に養育が困難な家庭への訪問支援員による支援

いつまでも元気、ずっと現役で

- ◆複数のがん検診を一度に受けられるセットがん検診の実施
- ◆带状疱疹ワクチンの定期接種の実施

誰もが大切にされる社会をめざして

- ◆同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解決に向けた教育や啓発活動の実施
- ◆DV防止対策として相談支援体制の充実や中高校生向けデートDV防止出前講座を開催



ぬくもりのある福祉サービスを

- ◆障がい者やその家族などの総合的な相談窓口として「出雲市障がい者基幹相談支援センター『あんど』」を開設
- ◆18歳以上の軽度・中等度難聴者を対象とする補聴器購入の助成制度を新設

地域特性を生かして安心な医療を

- ◆市内の医療機関の連携強化と機能分化の推進、中山間地域等における在宅医療等の医療ニーズへの対応
- ◆総合医療センターのリハビリテーション提供体制の強化、在宅医療の推進、健診・人間ドックの拡充

地域とともに持続可能な中山間地域を

- ◆訪問介護サービス事業への支援を拡充
- ◆有害鳥獣による被害対策として中山間地域の農業団体等への侵入防止柵の設置に係る支援を拡充、捕獲活動や放任果樹の除去などの取組を推進

出雲のインフラを整え「安心」を支える

- ◆「都市計画マスタープラン」の策定、「立地適正化計画」の策定に着手
- ◆街路や幹線市道整備10か年計画に基づく道路整備
- ◆市役所周辺の公共施設のあり方についての検討
- ◆湖陵地域及び神西地区での定額乗合交通の実証運行
- ◆運転手不足の解消に向け、路線バス、タクシーの二種免許取得費支援やUIターン者対象の就労体験の実施

デジタルの力で未来をデザイン

- ◆「いずも縁結びPAY」を活用したボランティアやイベント参加者、乳がん検診の受診者等への行政ポイントの付与
- ◆民間企業等から提案を受ける「官民連携による地域課題解決検討プロジェクト」の推進



家庭・地域・学校で育む出雲の教育を

- ◆「今後の市立幼稚園のあり方に関する基本方針」による幼稚園の再編等の取組
- ◆保幼小連携担当の教育指導員の配置
- ◆須佐小学校と佐田中学校の小中一貫型小学校・中学校や、義務教育学校の設置の検討
- ◆小規模特認校制度の導入を検討
- ◆特別な支援や医療的ケアを必要とする児童生徒に対するきめ細かな支援
- ◆校内教育支援センター「ほっとルーム」の体制強化や教育支援センターの拡充、ICTを活用した学習支援・相談、学びの多様化学校の設置の検討
- ◆日本語指導が必要な児童生徒に対する、個に応じた指導とキャリア教育の実施
- ◆新たに出雲市特別顧問「教育DX担当」を委嘱し、ICTの効果的な活用を推進
- ◆中学校部活動の地域移行を検討
- ◆遠方から高校生を受け入れる下宿等の事業者を支援
- ◆教室不足対策：西野小学校の校舎増築工事、大津小学校の内部改修の実施設計
- ◆老朽化対策：四絡小学校屋内運動場改築の実施設計、北陽小学校屋内運動場改築のための造成設計、長浜小学校東校舎改築の実施設計、灘分小学校・出東小学校の屋内運動場の改修工事、塩冶小学校校舎教室棟と遙堀小学校校舎改修の実施設計
- ◆熱中症対策：中学校の特別教室と、幼稚園の遊戯室へのエアコン整備



人が地域を、地域が人を育てる

- ◆自治会加入推進員による未加入世帯への戸別訪問や、自治会支援アドバイザー事業による加入促進・脱退防止の取組
- ◆市から自治会等に依頼している業務の負担軽減に向けた取組
- ◆コミュニティセンターの安定的な運営の支援、老朽化した施設の計画的な耐震化工事や改築工事の推進



誰もが笑顔になれるまち



芸術文化で豊かな出雲を

- ◆出雲総合芸術文化祭や出雲ドームかみあり吹奏楽フェスタの開催、出雲芸術アカデミー活動を通じた芸術文化の振興

スポーツで元気な出雲を

- ◆令和12年開催予定の国民スポーツ大会及び全国障がい者スポーツ大会に向けた「出雲市準備委員会」の設立
- ◆本年夏に開催のインターハイ(「なぎなた」競技大会)に向けた準備
- ◆女子プロサッカーリーグ参入をめざす「ディオッサ出雲FC」への支援

誰もの「学びたい」を実現

- ◆地域の歴史や課題など、さまざまなテーマの生涯学習講座の実施
- ◆図書館における電子書籍貸出しサービスの導入

出雲の魅力、発信します

- ◆「出雲市シティプロモーション戦略」の策定
- ◆「日本の心のふるさと出雲」応援寄附事業の魅力的な返礼品の拡充
- ◆「企業版ふるさと納税」の効果的な情報発信・PR活動の実施

インターハイ(「なぎなた」競技大会)の開催



ポスター図案 優秀賞作品 / 出雲北陵高等学校 勝田 愛弓(当時3年)

行財政改革

- ◆第3次出雲市行財政改革大綱と実施計画に基づき、費用対効果の検証を踏まえた事務事業の見直しや、ふるさと納税制度等の活用による財源の確保、DXの積極的な導入による業務効率化などを推進



令和7年度6月補正予算の概要

- ◆人口減少対策や中山間地域振興、脱炭素化の推進に係る経費のほか、地域通貨「いずも縁結びPAY」の活用に係る経費など、政策的予算を編成
- ◆補正予算額は、一般会計8億4,500万円、特別会計7,500万円(企業用地造成事業)
- ◆現行予算及び補正予算を含めた総額は、一般会計92億500万円、特別会計42億1,500万円



結 び

本年3月、本市は市制施行20周年を迎えました。本市の発展を支えてこられた、先輩諸賢のご尽力に深く敬意を表するとともに、受け継いだ「ふるさと出雲」を守り、育て、未来につないでいく、その決意を新たにしました。

ふるさと創生に力を注がれた竹下登元総理は、「政治は無限の理想への挑戦」という言葉を残されています。

私は、目まぐるしく変化する世の中に柔軟、かつ、ポジティブに挑み続ける挑戦者として、古来より出雲の地に息づく「チャレンジ精神」、「対話力」、「多様性」、人と人のつながり「ご縁」を大切にする心をもって、本市の未来を切り開いてまいります。

そして、私が先頭に立って、市政を更に「前へ」進め、本市を地域創生のトップランナーへと導くことを、お誓い申しあげ、本年度の施政方針といたします。



令和7年度市長施政方針の全文はこちらをご覧ください▶

